

デジタル水産業戦略拠点の創出について（基本的な考え方）

資源管理の推進、漁業の生産性の向上、漁村の活性化を図るため、生産者・加工・流通業者、地方公共団体等が参画する地域コンソーシアムが主体に地域が一体となって水揚量の把握・管理から漁獲物の出荷・流通・消費に至る取組にデジタル技術を活用する「デジタル水産業戦略拠点」を創出し、その横展開を推進する。

- これまで、資源管理、生産、加工・流通、消費とバラバラに実施してきたデジタル化の取組を地域で一体的に実施していく。
- 【目標】 2025年までに2地域、2027年までに5地域で実施し、2032年までに希望する全ての地域への横展開を目指す。

從來

デジタル水産業戦略拠点のイメージ

各地でデジタル化の取組を実施（例）

出漁に当たっての漁海況データの活用[沿岸]

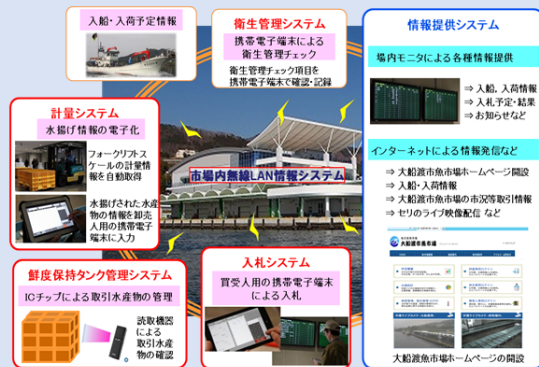


養殖管理システムの高度化



写真提供：
(有)勇進水産、パシフィックソフトウェア開発(株)

産地市場の電子化



資源管理

生産

加工・流通・消費

<沿岸漁業>

水揚量データ
の把握による
資源評価・
管理

<沖合漁業>

A close-up photograph of a person's hand using a stylus to interact with a tablet. The tablet screen displays a financial application with a table of data and a calculator interface on the right side. The stylus is pointing at one of the buttons on the calculator.

<養殖業>



画像解析による
魚獲物の測定

- ・餌代や人件費等の経費など養殖生産の「見える化」
- ・AIを活用した自動給餌やスマホによる遠隔給餌

- ・画像センシング技術を用いた自動選別
- ・AIによる品質判定
- ・ニーズに応じた出荷

画像センシング技術
を用いた自動選別

A1による品質判定

写真提供：（株）電通

漁村地域の活性化

地域内での相乗効果も含め、水産関係者の所得の向上など、地域の活性化

都市住民や外国人観光客に裨益

消費者の安心趣向への対応、
食品ロスの削減、ワーケーション等によるOOL向上

学ぶ場を提供

地域外のスマート水産業に興味のある漁業者や加工流通業者、デジタル推進員、デジタル人材等に学ぶ場を提供